

## 令和8年度学校経営計画表

### 1 学校の現況

学校番号	特5	学校名	県立北茨城特別支援学校										学校長名	佐藤 典子			
副校長名						教頭名	田村 睦子					事務長名	沼田 こずえ				
教職員数	教諭	55	養護教諭	2	常勤講師	10	非常勤講師	3	実習助手	2	寄宿舎指導員	事務職員	3	技術職員等	12	計	87
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数	
	幼稚部																
	小学部	5	3	8	0	4	2	3	4	7	7	6	0	33	16	15	
	中学部	7	2	6	3	10	2							23	7	9	
	高等部	8	3	5	4	5	5							18	12	6	
	専攻科																
														小計	74	35	30
													合計	109			

### 2 目指す学校像

- ◆児童生徒がいきいきと自分らしく、安心安全に学べる学校
- ◆教職員がチームとして支え合い、誇りとやりがいをもって勤務できる学校
- ◆保護者・地域から信頼され、地域の特別支援教育の発展に貢献できる学校

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、津波の避難経路については、公共機関との連携が構築され、より安全なルートが確保できた。</li> <li>・生命の安全教育について、全職員・保護者等に実施に向けて着手をしている。</li> <li>・地域学校協働活動は、地域の様々な分野の専門家等を交えて全校で実施している。</li> <li>・地域の施設「期待場」を活用した小中学校との作品展を実施し、131名の来場者に作品を見ていただくことができた。</li> <li>・老朽化により施設・設備の補修箇所が増加している。</li> <li>・管理職によるリスペクト賞「強み・良さ」の発信や学年主任による学年の教職員自慢をとおして人材育成を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高北清掃センターを引き渡し場所とし、行政や地域との連携を密にした避難訓練及び引き渡し訓練の実施</li> <li>・生命の安全教育を学校安全計画に位置付けて発達段階に応じて全学年実施</li> <li>・コミュニティ・スクールにおいて、地域資源や外部人材の活用</li> <li>・作品展のほか、交流内容や活動の工夫と改善</li> <li>・安全点検による早期改修、生命安全優先の環境整備・整頓</li> <li>・よさを認め合い教職員間で支え合える雰囲気醸成とミドルリーダーの育成</li> <li>・休暇制度の周知と時差出勤等を活用した働き方の推進</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒による授業評価アンケート実施や年間指導計画の改善、単元配列シートを作成し、授業改善に取り組んでいる。</li> <li>・学びの成果の発信やアウトプット、振り返りのツールとして ICT 機器を活用した。</li> <li>・挨拶、清掃、接遇及び小学部からの職場体験を軸とし、系統的取組に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の単元計画の作成、年間指導計画の見直し改善</li> <li>・探究的な学びの視点での授業づくり</li> <li>・学習のねらいに応じた ICT 活用</li> <li>・体験を重視し、小学部からの職場体験を軸とした系統的取組の継続</li> </ul>

#### 4 中期的目標

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 学習指導要領における育成を目指す資質・能力を踏まえた授業づくりにより、教育的ニーズに応じた学力の育成を図る。 |
| 2 | 児童生徒の安全教育を推進し、危機管理体制の改善をとおして安心・安全な教育環境に努める。            |
| 3 | 地域と連携し、互いに学び合える環境及び多様性を認め合える共生社会の実現に努める。               |
| 4 | 地域の特別支援教育の発展と共に、相互で学び合い、センター的機能の充実を図る。                 |
| 5 | 専門家や関係機関との連携、協働により、教職員の専門性の向上と働きがいを得られる職場環境整備に努める。     |

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 自ら学ぶ力を育てる授業づくり 【知りたい！をつなげる学び】	① 自ら何度もチャレンジし、楽しく学べる授業の工夫・改善 ② 学習のねらいに応じ、ICT活用した学習活動の充実 ③ 専門家と連携し、研修や指導助言を生かした授業づくり ④ 小学部からの職場体験を軸とした職業教育の充実
2 安心・安全な教育環境づくり 【安心・安全な教育環境】	⑤ 地域・家庭・専門家と連携した防災・生命の安全教育の推進 ⑥ 環境の整備、安全点検等の徹底による事故や感染症の未然防止 ⑦ 「ありがとうの輪」による自己有用感の向上、いじめ防止、情報モラルの取組の推進 ⑧ 迅速な校内の相談・支援体制の充実 ⑨ 医療との連携及び災害時の医療的ケア
3 互いのよさを認め合う機会の設定 【多様性を認め合える共生社会の実現】	⑩ コミュニティ・スクールにおいて地域資源を活用した協働的な学びと自己実現 ⑪ 多様性を認め合える交流・共同学習の工夫 ⑫ PTAや地域、教育・医療・福祉等の関係機関と連携した活動の推進 ⑬ 地域におけるスポーツ、文化・芸術的活動への積極的な参加
4 多様なニーズに対応できるセンター的機能の強化 【地域に沿った特別支援教育の推進】	⑭ 地域の実態を適切に把握した巡回相談の充実 ⑮ 「みんなで地域支援」をコンセプトとした支援体制の充実 ⑯ 地域のニーズに応じた特別支援学校地域連携体制構築事業、特別支援教育推進体制充実事業の実践
5 教職員の専門性と働きがいの向上 【専門性の向上と働きがい】	⑰ 専門家派遣事業を活用した校内研修の推進と専門性の向上 ⑱ ライフワークとキャリアステージに応じた自己研修の推進 ⑲ 行事・業務内容の見直し改善等、働きやすい環境の整備と充実 ⑳ 教職員におけるコンプライアンス遵守の徹底 ㉑ 互いの良さや強みを認め、支え合い、心理的安全性の高い職場環境整備（ありがとうの輪）